

## 「鏡のアート(1)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

私は現在、3年生の理科3クラス3時間ずつ、社会3クラス2時間ずつ、創造活動、新教科てつがく、それに図工1クラスのTTを担当している。(かなり忙しい日々)理科や社会も楽しいが、図工では子どもたちがちがった表情を見せて、とても面白い。



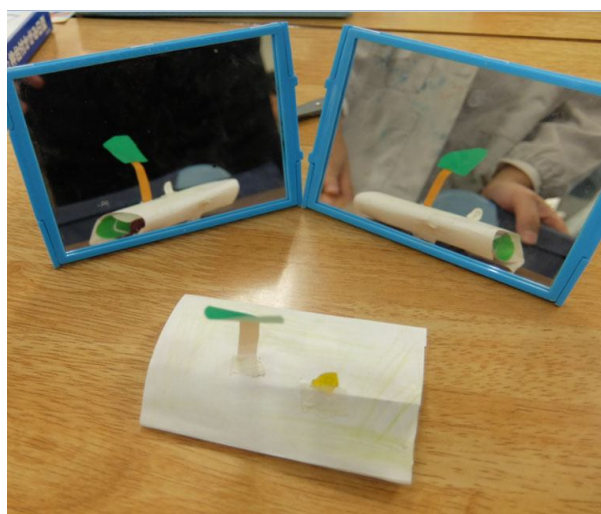
図工では理科にも通じる活動がたくさんある。鏡を使ったアートもその一つだ。3年生の理科でも使う、プラスチック枠がついた小さな鏡。自分たちが作ったデザインカードのまわりに鏡を置いて観賞する活動だった。1枚だけなら、作品は2倍にしか見えないが、3枚にも4枚にもすると、作品はどんどん増えてゆく。



これはムササビのアート。鏡に映ったムササビがまた鏡に映り、無数のムササビになることに、作者の子どもは驚いていた。



鏡を三角形に組むと、またちがった効果を生む。鏡の中で作品を回すと、万華鏡のように見える。



一つの作品が、背景によって見え方がちがう。通常は作品を置き変えないと比べられないが、鏡を使うと同時に見られるところが面白い。



これは、組んだ鏡の中に、のりや筆記具などを入れてみたところ。「わあー、ペンものりもたくさんに増えた！」文具は通常作品を創るための道具に過ぎないが、この場合は作品の一部になっている。